第10講 • 江戸時代③

1　交通の発達

(1)　陸上交通

①　江戸の【A　　　　】を起点とする五街道(ごかいどう)が整備(せいび)された。

・【B　　　　】…江戸～京都

・【C　　　　】…江戸～草津(くさつ)（滋賀(しが)県）

・【D　　　　】街道…江戸～下諏訪(しもすわ)（長野県）

・【E　　　　】街道…江戸～日光（栃木(とちぎ)県）

・【F　　　　】街道…江戸～白河(しらかわ)（福島県）

②　関所…江戸を守るために，街道の要所に設置(せっち)された。箱根（神奈川(かながわ)県）などでは，「入鉄砲(いりでっぽう)に出女」をきびしく取りしまった。

③　宿場…街道の約10kmごとに置かれ，宿場町として発展(はってん)した。

④　【G　　　　】…手紙などを運ぶ。現在(げんざい)の郵便(ゆうびん)にあたる。

(2)　海上交通

①　【H　　　　】航路…東北地方～津軽海峡(つがるかいきょう)～江戸

②　【I　　　　】航路…東北地方～下関(しものせき)～大阪

③　【J　　　　】船(ぶね)…蝦夷地（北海道）や東北・北陸の産物を西廻り航路で大阪に運んだ。

2 都市・交通の発達

(1) 都市の発達

江戸・大阪・京都は，三都とよばれ栄えた。

① [A] …「将軍様のおひざもと」とよばれ，18世紀初めには人口100万人をこえる世界有数の大都市となった。

② [B] …「天下の台所」とよばれ，全国の産物が集められた。幕府や大名はそれらを売りさばくために，蔵屋敷（くらやしき）を置いた。

③ [C] …「天子様のおひざもと」とよばれ，文化の中心地として栄えた。

※大阪・京都は上方（かみがた）とよばれた。

3 江戸時代の文化

(1) 元禄（げんろく）文化

① 文学

(ア) 浮世草子（うきよぞうし）（町人小説）― [A]

・代表作…『日本永代蔵（にっぽんえいたいぐら）』『世間胸算用（せけんむねさんよう）』など

(イ) 俳諧（はいかい）― [B]

・代表作…『奥（おく）の細道』など

(ウ)　人形浄瑠璃(じょうるり)・歌舞伎(かぶき)―C

・代表作…『曽根崎(そねざき)心中』『国姓(こくせん)（性）爺合戦(やかっせん)』など

②　絵画

(ア)　浮世絵

・菱川師宣(ひしかわもろのぶ)…「見返り美人図」など

(2)　化政(かせい)文化

①　文学

(ア)　小説

・D　…『東海道中膝栗毛(とうかいどうちゅうひざくりげ)』

・滝沢馬琴(たきざわばきん)…『南総里見八犬伝(なんそうさとみはっけんでん)』

(イ)　俳諧(はいかい)

・与謝蕪村(よさぶそん)…自然の美しさをあらわした。

・小林一茶(いっさ)…人間・動物など弱者へのいたわりをあらわした。

(ウ)　川柳(せんりゅう)・狂歌(きょうか)…世の中を風刺する内容は，人々に喜ばれた。

② E 絵

錦絵(にしきえ)とよばれる多色刷り(たしょくず)の版画(はんが)が作られるようになった。

(ア)　風景画

・F …「東海道五十三次」

・G …「富嶽(ふがく)三十六景」

(イ)　美人画―喜多川歌麿(きたがわうたまろ)

(ウ)　役者絵―東洲斎写楽(とうしゅうさいしゃらく)

4　江戸時代の学問

(1)　A …幕府の学問となる。

(2)　新しい学問

① B …日本古来の考え方を明らかにしようとする学問。

・C ―『古事記伝』

※C は，伊勢(いせ)国（三重(みえ)県）松阪(まつさか)の医者であった。

② 蘭学（らんがく）…ヨーロッパの近代科学や文化を研究する学問。

※蘭学が始まったのは，8代将軍徳川吉宗（よしむね）がキリスト教に関係のない洋書の輸入（ゆにゅう）を許（ゆる）したことがきっかけとなった。西洋の学問を研究する蘭学は，江戸時代の末期には，洋学とよばれるようになった。

(ア) [D]・前野良沢（りょうたく）―『解体新書（かいたいしんしょ）』
オランダの医学書『ターヘル＝アナトミア』をほん訳（やく）した。

(イ) [E]―正確（せいかく）な日本地図を作った。

(ウ) 平賀源内（ひらがげんない）―発電機（エレキテル）の製作（せいさく）

(エ) シーボルト（ドイツ）―長崎（ながさき）で鳴滝塾（なるたきじゅく）を開く。

(3) 教育

① 藩校（はんこう）…各藩が武士（ぶし）の子弟に儒学などを学ばせるために設立（せつりつ）した学校。

② [F]…農民や町人の子どもたちに「読み・書き・そろばん」を教えた教育機関。

〈 Note 〉

第10講 ● 確認テスト

(1) 江戸から下諏訪までを結ぶ街道（かいどう）を何といいますか。

ア　東海道　　イ　中山道（なかせんどう）　　ウ　甲州街道（こうしゅう）　　エ　奥州街道（おうしゅう）

(2) 江戸から白河までを結ぶ街道を何といいますか。

ア　東海道　　イ　中山道　　ウ　甲州街道　　エ　奥州街道

(3) きびしい身分制（みぶんせい）のなかで，義理（ぎり）と人情（にんじょう）の板ばさみになやむ男女の気持ちを人形浄瑠璃（じょうるり）の台本に書いたのは誰ですか。

ア　井原西鶴　　イ　松尾芭蕉
ウ　近松門左衛門　　エ　菱川師宣

(4) 各地を旅行しながら『奥（おく）の細道』などを著（あらわ）し，俳諧（はいかい）をりっぱな芸術（げいじゅつ）にまで高めたのは誰ですか。

ア　井原西鶴　　イ　松尾芭蕉
ウ　近松門左衛門　　エ　菱川師宣

(5) 「東海道五十三次」という浮世絵を描いたのは誰ですか。

ア　歌川広重　　イ　十返舎一九
ウ　葛飾北斎　　エ　滝沢馬琴

(6)　『解体新書』を著したのは前野良沢と誰ですか。

ア　歌川広重　　イ　杉田玄白
ウ　葛飾北斎　　エ　滝沢馬琴

(7)　「富嶽（ふがく）三十六景」という浮世絵を描いたのは誰ですか。

ア　歌川広重　　イ　十返舎一九
ウ　葛飾北斎　　エ　滝沢馬琴

(8)　身分の上下関係や礼儀を重んじる，幕府の正式な学問は何ですか。

ア　国学　　イ　朱子学　　ウ　蘭学　　エ　洋学

(9)　幕府の命令で全国の沿岸（えんがん）を測量（そくりょう）し，正確（せいかく）な日本地図を作成したのは誰ですか。

ア　伊能忠敬　　イ　杉田玄白
ウ　平賀源内　　エ　本居宣長

(10)　国学を大成したのは誰ですか。

ア　伊能忠敬　　イ　杉田玄白
ウ　平賀源内　　エ　本居宣長

第10講 • 確認テスト

解答

(1)	ウ	(2)	エ	(3)	ウ	(4)	イ	(5)	ア
(6)	イ	(7)	ウ	(8)	イ	(9)	ア	(10)	エ

〈 Note 〉